



CONTENTS

- * 創立記念講演
- * 新任室員紹介
- * 人財バンク/研究補助員配置制度
- * カモミール月曆
- * サイエンス夢追い人育成プロジェクト
- * 保育園たより

創立記念講演

近年、女性の活躍促進が声高に叫ばれる中で、高等教育機関においても多様な分野で活躍する女性人材を育成することが重要課題とされ、行政による支援も強化されています。

今回、ご講演いただく室伏きみ子氏が学長をお務めになられるお茶の水女子大学は、1875年に日本初の女性のための高等教育機関として東京女子師範学校の校名で国によって設置され、創設以来、優れた教育者、研究者、技術者等を育て、社会に輩出してきました。特に、創設当初から、海外の人々と交流し見聞を広めて、グローバルに活躍できる女性リーダーを育成することをミッションとして推し進めておられます。

国立の女子大学としてのお茶の水女子大学の取り組み（過去・現在・未来）をご紹介いただくとともに、グローバル社会における女子教育のあり方と、未来に向けて社会を牽引していく女性たちへの期待について、お話しいただきます。大勢の方々のご来場をお待ちしています。



「トランスボーダー社会における女子教育 ～世界で輝く女性のカ～」

講師：お茶の水大学 学長 室伏きみ子氏

日にち：2017年6月1日（木）

時間：16：00～17：15

場所：岐阜大学 講堂

カモミール月曆 (室長からのメッセージ)

副学長 (多様性人材活力推進担当) 林 正子

「女性活躍推進法」に基づく行動計画の進捗状況

皆さんご存知のように、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」いわゆる「女性活躍推進法」<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukat-eikyoku/0000095826.pdf> が施行されて一年余りが経過しました。

「国立大学法人岐阜大学「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく行動計画」<http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/pdf/josei280401.pdf> に明記しているように、「女性教員の採用比率が少なく、在職比率も少ない。」「教員の上位職に占める女性の人数が少ない。」ということが本学の重点課題となっており、2021年3月31日までに以下の目標の達成が求められているところです。

《目標1》女性教員の採用比率を向上させるとともに、在職比率を20.4%以上に向上させる。

《目標2》女性教員の上位職比率を向上させる。(教授11.4%以上, 准教授・講師18.9%以上)

現段階(2017年5月1日現在)では、女性教員の在職比率は16.4%(特任教員を含む)、教授9.2%、准教授・講師17.2%に止まっており、目標到達に向けて、全部局構成員による課題の共有が必須となっています。

5月11日(木)には、森脇久隆 学長を委員長とする教育研究院運営委員会(定例会議)が開催され、「人事計画の検証の視点」として、次の事項が改めて確認されました。

1. 岐阜大学の将来構想、中期目標・中期計画に資する事項
2. 若手及び女性教員の雇用促進に資する事項

当該の中期計画(抄)は以下の通りです。

Ⅱ. 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1. 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置

①-5 40歳未満の優秀な若手教員の活躍の場を全学的に拡大し、教育研究を活性化するため、若手教員の雇用に関する計画に基づき、退職金に係る運営費交付金の積算対象となる教員(いわゆる承継枠)としての雇用を促進し、承継枠における若手教員の比率を平成33年度までに20.4%以上とする。

②-1 女性・若手・外国人・障がい者等多様な人材の能力を、大学組織が必要とする創造性・革新性、変化への柔軟性を高める観点から活用する。特に、教員に占める女性の割合を平成33年度までに21%以上に増やす。

これまで、男女共同参画推進室・人材開発部職員育成課では、「男女共同参画行動計画」「多様性人材活力推進行動計画」に基づく活動を積極的に展開するとともに、文部科学省科学技術人材育成費補助事業をはじめとする女性研究者育成・支援の取り組みを精力的に推進してきました。しかしながら、構成員の皆さんのご理解とご協力なしには、「女性活躍推進法」に基づく行動計画を達成することは不可能です。岐阜大学の基本理念と将来構想の実現に向けて、大学を挙げての気運が高まることを心より願っています。皆さまのご理解ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

新室員ご紹介

森本 真紀 教育学部（理科教育）准教授

4月より室員を務めさせていただくことになりました。岐阜大に着任してから1年が過ぎましたが、ワーク・ライフ・バランスの試行錯誤をする日々です。皆さまの経験や知識から学ばせていただき、また、私自身も推進室の活動のお役に立てたらと思います。よろしくお願い致します。



サイエンス夢追い人育成プロジェクト

（女子大学院生による出前講義）

ランチタイム カモミール・カフェ



4月26日（水）に出前講義説明会を実施し、4名の新規登録希望の女子大学院生が参加しました。出前講義担当室員の田中雅宏先生も同席してくださいました。また、5月18日（木）12:10-12:50 カモミール・カフェで、今年度に高校へ出前講義を実施する院生のために、教育学部の中村琢先生に、ご自身の高校での教員経験を活かしてレクチャーをしていただけることになりました。



ランチタイム カモミール・カフェ

～ 出前講義を実施する大学院生のために ～

講師：教育学部 中村 琢 准教授

日にち：2017年5月18日（木）
時間：12:10～12:50
場所：カモミール・カフェ



今年度初の出前講義は、5月17日（水）岐山高等学校で実施します。講師を担当するのは、スリランカからの留学生タランギガさん（連合農学研究科生物環境科学専攻 D2）。岐山高校では、毎年12月に2週にわたり計4コマの出前講義を実施していますが、それに加え、今年度は留学生による講義の依頼を受け、昨年度、出前講義講師に登録したタランギガさんが講師を務めることになりました。相原征代特任助教の指導の下、外国人講師ならではの国際色豊かな講義内容に仕上げることができました。

岐山高校での講義の様子は、次号でご報告いたします。





人財バンク/研究補助員配置制度

男女共同参画推進室では、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」のプロジェクトの一環として、研究補助員等を求める本学の研究者のみならず、共同実施機関（岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社）の研究者からの人材照会に応じるとともに、研究を中断している女性研究者が研究補助員等としてその専門性をいかして再チャレンジすることを支援する**人財バンク**を運用しています。また、女性研究者の両立支援の一環として、出産・育児、介護等により研究時間の確保が困難な研究者へ実験や講義の準備等を補助する者を配置し、育児や介護等と研究との両立を支援する**研究補助員配置制度**があります。（申請資格条件を満たす男性研究者も利用可能です。）

前号に続いてご紹介する田中加蓉子さんは、2014年に人財バンクに登録し、人財バンクからの紹介で、研究補助員配置制度により研究補助員として勤務された後、医学部で研究補佐員として採用され、現在に至っています。前号は右記WEBでご覧いただけます。<http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/report/index.html>



研究室での田中さん

— 研究補助員として勤務されたことにより、田中さんの能力向上につながりましたか？

研究については、脂質抽出 RT PCR HE標本作成 免疫染色 蛍光抗体法 有意差検定ができるようになりました。他にもGC-MSの測定やマウス実験のお手伝いをさせていただきました。

— 「人財バンク」に登録した頃を振り返り、今 思うこと等をお聞かせください。

最初は右も左もわからず、頭も動かないし、どうしたものかと宇宙船にのったような気分でおりました。研究室のみなさんも医局の先生方も明るくてサバサバしていて、とても尊敬できる方々ばかりです。よく自己嫌悪に陥りますが、みなさん親切に接してくださりととても楽しい職場です。

<おわり>

— 人財バンク —

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/activity/07.html>

— 研究補助員配置制度 —

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/activity/05.html>

保育園たより



平成28年度は2名の園児を送り出しました。

子ども達は両親と先生方に感謝を伝え、後に残る園児たちにも祝福されました。



今年4月に「認可 事業所内保育園」として新たなスタートを切った岐阜大学保育園（ほほえみ）で、4月3日に横山正樹理事をお迎えし、除幕式をおこないました。

